

Montefiore Medical Center

USA

杉浦唯久 先生

2019 年

ニューヨークにある Montefiore Medical Center の杉浦唯久と申します。北原先生より JAYCS 留学ブログへの寄稿のお話を頂きましたので、私の勤める Montefiore Medical Center をご紹介したいと思います。

まずは自己紹介ですが、私は、2003 年に東京女子医大に入局しました。2013 年から女子医大の元上司のラボがある The Ohio State University で、3 年間 Vascular Tissue engineering のリサーチをし、この間に USMLE をパス。2016 年から Texas Heart Institute の LVAD/Transplant Fellow を 2 年間行いました。2018 年から Montefiore Medical Center の Minimally Invasive Fellow をしています。

Montefiore Medical Center は New York 市 Bronx 区にある Albert Einstein College of Medicine の University Hospital です。Bronx には Montefiore と名の付く病院がたくさんあり、Bronx やその北の Westchester では幅を利かせています。しかし、Manhattan の人に Montefiore と言っても、「どこそれ?」といった感じであまり知られていません。

Bronx は、あまり治安が良くないことで有名で、ニューヨークの地球の歩き方にも、「旅行者が行くとすれば下記の 3 つくらい（ヤンキースタジアム、ブロンクス・ズー、ニューヨーク植物園）。それ以外の場所をむやみに歩き回らないこと。」と書かれており、Bronx 全部で 1 ページだけにまとめられています。（病院周辺や私が住んでいる地域は、それほど治安は悪くありません）

Montefiore の Cardiothoracic Surgery は 2 つの病院で手術を行っており、Moses Campus (Montefiore Hospital) で LVAD、Transplant を、もう一つの Einstein Campus (Weiler Hospital) で

Minimally Invasive Surgery を行っています。Cardiac の Attending は Moses Campus に 4 人、Einstein Campus に 2 人です。2 つの病院を合わせた Cardiac Surgery の症例数は、年間約 1000 例ほどで、約 40%が CABG、20%が Valve の症例で、Aorta の症例はあまり多くありません。Heart Transplant が年間 40-50 例、Lung Transplant は 2017 年からプログラムが立ち上がり、2018 年は約 30 例、LVAD は年間 30-40 例、TAVR が 100-120 例程度行われています。今年から、Structural Heart Program の Interventional Cardiologist のチーフが変わり、TAVR、MitraClip 等の症例が増えています。

正規 Fellow は、2 年間のプログラムで各学年 2 人、計 4 人と Super fellow が例年 1 人です（Super Fellow は Minimally Invasive か Transplant のどちらかで、その年によってどちらの採用があるかは異なります）。Montefiore の特色として、Cardiothoracic Surgery 所属の PA が 23 人もおり、彼女/彼たちが病棟管理、SVG 採取、閉胸のアシスタント、当直などをこなしてくれます。

私がやっている Minimally Invasive Super Fellow の業務内容は、TAVR と Robotic CABG に優先して手洗い、Mini AVR、Mini MVR 等の手洗い、CABG はほぼ術者側から執刀と、ほぼ毎日の Procurement (Heart と Lung の両方)と ECMO のオンコールです。ECMO のオンコールでは、院内症例だけでなく、よその病院に行って ECMO の Cannulation をし、患者を Montefiore に搬送することもあります。ICU の患者は ICU intensivist と共同で管理し、週 1 の外来で、主に術後患者のフォローをしています。週末のオンコールはだいたい隔週です。Transplant の Super Fellow の場合、TAVR、Robotic、MICS の代わりに、LVAD/Transplant の症例に入ることになると思います。

大きなプログラムではありませんが、Bronx の中核病院といった感じで、ファミリー的な雰囲気で行っています。